

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）  
 A：十分達成できている  
 B：おおむね達成できている  
 C：やや不十分である  
 D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学習の質的な向上をめざし、学習の目的・内容・方法について、改めて検討を重ねていく。「客観的数値による児童実態の把握」「学ぶ目的の明確化」「学びが深まるための対話の在り方」「学びが深まるためのICT機器の活用」を観点とする。 ・この数年で希薄にならざるを得なかった児童同士のつながり、地域とのつながり、保護者とのつながりの推進を通じて、自己有用感等を感じさせることで自主的・自律的な児童の育成をめざしていく。 ・特別支援教育の考え方や具体的な手立てを広く共有し、児童に寄り添った指導の充実を図っていく。
------------------	---

2 学校教育目標	笑顔いっぱいの学校づくり ～温かい心で共に高め合い、主体的に取り組む子どもの育成を目指して～
----------	---

3 本年度の重点目標	① 考える力：「唐津の学びスタイル」を元に主体的対話的で深い学びの視点での授業改善を図る。 ② 心の力：家庭・地域と連携した体験活動や人権教育の充実を図ることで、自己肯定感を高める。 ③ 体の力：系統性を重視した意図的・計画的な健康教育と体育活動を行う。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価
								評価 意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・児童が学んだ内容、学び方、学んだプロセスを自覚できるように振り返りを工夫する。	○児童アンケートで、「だいたい当てはまる」以上と回答した児童80%以上。教職員アンケート「唐津学びスタイルで授業を行い、評価・改善しながら授業改善に努めている」と回答した教職員90%以上。	・唐津の学びスタイルに沿った授業を展開し、児童主体の授業を行っている。数値目標として45分の授業で児童の活動を30分以上取り入れる。						・学力向上対策コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○①「命を大切にしている」②「まわりの人のことを思いやり、進んで親切にしている」③「差別をしないで、だれに対しても同じように接している」について、肯定的な回答をした児童85%以上	・人権教育(人権集会等)の全校的な取組の充実。 ・人権週間(11月下旬)を設定し、学級や学年で人権学習に取り組む。						・人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員95%以上 ○アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童90%以上	・いじめアンケート等を通して児童の状況を把握し、いじめの早期発見や早期解決に取り組む。 ・生活指導協議会や児童理解研修会等で気になる児童の情報共有を行い組織として対応する。						・生徒指導担当
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒85%以上	・地域の方との交流や体験活動、学校行事等でサッカーカード(目標・振り返りカード)を活用し、自分を見つめる機会を計画的に設定する。 ・桜カードに保護者や地域の方から児童へのメッセージを書いていただくことで、自分や友達を多面的、肯定的に捉える機会をつくる。						・道徳教育推進教員 各学年主任
	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●休み時間に外で遊ぶ児童の割合85%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○自転車の乗り方等について、「交通ルールを守っている」と回答する児童80%以上	・天気の良い日に外で遊ぶことを推奨する。 ・運動会、持久走大会など体育的行事に向けた児童の自主的な取り組みを進める。 ・給食週間に取り組む。 ・食育、給食指導の充実を図る。 ・避難訓練や安全教室などの計画的に実施する。 ・校区内の通学路や危険個所の点検を行う。						・保体部長 養護教諭 食育担当 安全教育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・伝達事項は文面やグループウェアで伝え、協議するものを絞ることで、職員会議を1時間以内、職員連絡会は15分以内で行う。その達成率を80%以上とする。						・教頭
●特別支援教育の充実	●職員の特別支援教育に対する専門性の向上	●アンケートで、児童や保護者対応についての意識向上80%以上	・職員対象の研修を行い、児童理解と指導力の向上を図る。 ・定期的(1月に1回程度)にケース会議を開き、より適切な指導に取り組んでいく。						・特別支援コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------